

きくちじょう

鞠智城の国営公園化を実現するために、大規模歴史公園整備計画の基本コンセプトを取りまとめました。

熊本県では、歴史的価値の高い鞠智城を、我が国を代表するような大規模歴史公園として整備することを目指して、有識者による鞠智城大規模歴史公園整備検討委員会(委員長：蓑茂壽太郎熊本県立大学理事長)を設置し、「鞠智城大規模歴史公園整備計画」の策定に取り組んでいます。この中で、検討委員会のこれまでの議論を経て、公園整備のあり方や利活用の方針など計画の基本コンセプトがまとまりましたので公表します。

1. 基本コンセプト策定の目的

熊本県では、鞠智城の国営公園化を目指して様々な取組を行っていますが、歴史的価値(ポテンシャル)を有している鞠智城が、真に我が国を代表する大規模歴史公園にふさわしい場所であることを明らかにすることが必要と考えました。

このために、公園整備のコンセプトを明確にし、整備の意義や利活用方法等について国の理解を求め、早期の国営公園化の実現を目指したいと考えています。

更に、基本コンセプトを公表することにより、鞠智城が大規模歴史公園として国営公園にふさわしいことを県民や全国の方々に理解を深めていただきたいと考えています。

なお、今後このコンセプトに対する多くの方のご意見をお聞きし、計画をより良いものにしていきたいと考えています。

2. 基本コンセプト

今回、整備計画の基本コンセプトとして、まずテーマと理念を設定しました。

基本テーマ：「東アジアを見つめた古代日本『鞠智城』」

基本理念：鞠智城とその周辺地域を、日本を代表する大規模歴史公園として適切に保存・継承し、歴史学習や国際的な交流の場として活用するとともに、地域活性化の拠点とする。



そして、公園の目指すべき全体目標像と5つの視点を掲げ、目標像を達成するため

の5つの基本方針を定めました。目標像と基本方針については、別紙のとおりです。

【参考】

・鞠智城とは

鞠智城は、朝鮮半島における白村江^{はくそんこう}の戦い（663年）に敗れた大和政権が、唐・新羅からの侵攻に備えて西日本各地に築いた古代山城のひとつであり、律令国家が形成されていった時代における我が国固有の文化遺産です。

古代山城には鞠智城のほか、大野城（福岡県）、基肄城^{きい}（佐賀県）、金田城^{かねだ}（長崎県）など11城がありますが、鞠智城はこの中で最も調査と整備が進んだ遺跡であり、7世紀後半の百済系菩薩立像^{ぼさつりゅうぞう}をはじめ、八角形建物跡や木簡など学術的に貴重な遺構や遺物の発見が相次いでいる重要遺跡であり、熊本県ではこの鞠智城の国営公園化を目指しています。

・国営公園化の意義

鞠智城をはじめとする古代山城は、白村江の敗戦を契機に日本の律令国家が形成されていった時代における重要遺産であり、『我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図る』ために設置される口号国営公園としての高い資質を有しています。

また鞠智城は、古代山城の中でも唯一丘陵地に位置しアクセス面で地の利に恵まれ、総ての古代山城を包括した情報発信拠点として大きな役割を担うべきポテンシャルを持っています。

鞠智城の国営公園化により、文化財が適切に保存されるとともに、地域の観光拠点が新たに創出され、修学旅行など飛躍的な観光客の増加が見込まれ、これが地域振興の起爆剤となり、県勢浮揚にもつなげていくことができます。

・鞠智城大規模歴史公園整備基本計画検討委員会名簿

	氏 名	役 職 名
委員長	蓑茂 壽太郎	熊本県立大学理事長
副委員長	松本 守	桐蔭横浜大学客員教授
委員	大田 幸博	熊本県立装飾古墳館館長
委員	古閑 三博	熊本県文化財保護協会会長
委員	佐藤 信	東京大学大学院人文社会系研究科教授
委員	西谷 正	九州歴史資料館館長
委員	服部 勉	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
委員	濱田 耕策	九州大学大学院人文科学研究院教授
委員	原 重一	原重一観光研究所代表
アドバイザー	藤吉 信之	国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課公園・緑化事業調整官